

①安全で安定した水の供給（利水）
 すべての人に安全な水を安定的・効率的に供給するため、水供給計画の策定や、給水施設の整備、住民参加型の水管理組織の育成、水道事業者の経営能力の強化、衛生環境の改善などを支援。「2015年までに安全な水と基礎的衛生設備を利用できない人口の割合を半減する」というミレニアム開発目標（MDGs）の達成を目指す。

②生命・財産を守るための治水の向上（治水）
 洪水などの水害から人々の生命や財産を守るため、堤防やダムなどの整備と、予警報システムの構築、ハザードマップの作成などを組み合わせた防災計画の策定、防災教育を通じた住民・コミュニティの防災能力の向上、防災行政体制の強化などを支援している。

③水環境の保全（水環境）
 水質の改善や流域全体の水循環に応じた環境保全を進めるため、適切な水環境政策の策定、社会全体の水環境管理能力・技術の向上、下水処理施設の整備・維持管理、住民への環境教育の推進などを支援している。

④統合的水資源管理の推進
 統合的水資源管理とは、「利水」「治水」「水環境管理」という多面的な視点に配慮して、包括的に水資源を管理すること。特に、希少化している水資源の適切な開発・管理のため、水利用・土地利用に関する政策・計画の策定、流域全体の水収支（一定期間に流入する水の量と流出する水の量の関係）の把握のための観測やデータの整理・活用、関係機関の能力強化などを支援している。

井戸・水道などの給水施設が持続的に維持管理されるよう、地方の村では住民参加型の水管理組織の育成を、都市部では水道運営機関の維持管理能力・経営能力の強化を図る技術協力を行っている。



住民に井戸の維持管理方法を指導する青年海外協力隊員(右)

ウガンダ

無償資金協力による井戸の建設と青年海外協力隊による維持管理支援

日本は1997年からウガンダ中西部の約400の村で井戸の建設を支援してきた。しかし、井戸を維持管理する村の管理組合が十分に機能していなかったため、2002年より青年海外協力隊員を派遣し、井戸の現状調査や、管理組合の運営改善、修理技師の配置、衛生教育などを支援している。

給水施設の持続的な維持管理

途上国ではトイレなどの衛生施設や下水道施設が整備されていないため、生活排水・工業排水が未処理のまま流出し、水環境だけでなく居住環境を悪化させ、感染症などの病気の原因となっている。JICAは円借款や無償資金協力です下水道施設を整備するとともに、住民への衛生啓発活動や衛生施設を普及する技術協力を行っている。



円借款で整備された下水道施設

ブラジル

「トードス・オス・サントス基本衛生環境改善事業」

都市化・工業化が進むバイア州の州都サルバドル市では、トードス・オス・サントス湾に未処理の生活排水や工業排水が流れ込み、生活環境に悪影響を与えていた。そこで、円借款により下水道システムを整備。下水道普及率は26%（1997年）から69%（2006年）に向上し、住民の生活環境と健康の改善、周辺海域への環境負荷の軽減に貢献した。

衛生改善

私たちが通常利用できる水は、地球上にある海水も含むすべての水のわずか0.01%にすぎない。近年の人口増加・経済発展による需要の高まりで、一人当たりの利用可能な水量は減り続けており、水質も悪化している。また、多くの地域で砂漠化や渇水が問題になる一方、洪水被害が増加している地域もある。特に途上国では、水不足だけでなく、水質汚濁、水災害など、水にかかわる問題がますます深刻化・多様化している。

一般的に「水資源」とは、農業・工業・発電・生活用水などとして利用できる水（利水）を指すことが多い。しかし、限られた水資源を持続的に活用するためには、利水の観点だけでなく、洪水や渇水の対策（治水）、環境資源（水環境）の観点からも問題をとらえて、総合的に取り組むことが有効だ。

JICAは、すべての人が良質な水を持続的かつ公平に利用できるようにすることにも、水害の被害軽減や水環境の保全を図るべく、次の4つの目標を掲げて支援を行っている。

人々の健康と暮らしに直結する「安全で安定した水の供給」のための支援とその事例

水資源の開発や水道整備の計画策定のための技術協力を行うとともに、井戸や水道などの給水施設を無償資金協力・円借款で整備している。

給水施設の整備

バングラデシュ

「チッタゴン上水道セクター支援」

バングラデシュ第2の都市・チッタゴン市では水道普及率が48%にとどまっている。JICAは2000年に調査を行い、市内全体に水を安定供給するための水道整備事業計画を提案。その計画に沿って、円借款やバングラデシュ政府の資金で浄水場が整備されてきている。また、漏水や違法接続など無収水の問題に対処できるよう、上下水道公社の能力強化を図る技術協力も実施し、水道普及率の向上を目指す。



水道の数や給水時間が限られているため、長時間並んで水をくむ人々

開発途上国で水の問題が深刻化・多様化する中、JICAは安全で安定した水の供給を実現するため、給水施設の整備、持続的な維持管理、衛生改善に取り組んでいる。

安全で安定した水供給を目指す JICA の支援